

「第34回 千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

(令和3年7月16日開催)

【知事の指示事項等】

各部局とも、感染拡大防止に向けて協力をいただき、感謝いたします。また、市町村の方にも心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

本県では、7月9日に対策本部会議を開催し、まん延防止等重点措置を講じるべき区域を12市から9市といたしました。

併せて、措置区域以外の東葛地域及び印旛地域の一部について、状況に応じて速やかに措置区域への追加を検討すべき区域とした上で、感染状況、病床稼働率の状況等を、より一層注意深くモニタリングしていくことにいたしました。

本県の感染状況について、新規感染者数は、全体としては6月30日から16日連続で100人を上回っており、昨日の新規感染者数については、今年3月に緊急事態宣言が解除されて以降、最も多い253人となりました。

特に、東葛南部地域は顕著な増加傾向が見られているところです。

直近7日間平均で約190人となっており、この1週間平均を前の週と比較すると、1.28、28%の増加です。

病床稼働率については、全体としては、昨日時点において39%と、まん延防止等重点措置が適用された4月20日以降最も低かった6月上旬と比べると16ポイント増加しています。

特に、東葛地域の病床稼働率が急上昇しているところです。

こうした状況を踏まえ、まん延防止等重点措置を講じるべき区域の見直しや、病床確保計画におけるフェーズについて協議をいたします。

千葉市、船橋市、柏市、市長会及び町村会の皆様におかれましては、御多忙のところ御出席いただき、ありがとうございます。

○ まん延防止等重点措置区域の見直しについて

7月19日から8月22日までの間、重点措置の対象区域については、これまでの9市に、新たに八千代市及び鎌ヶ谷市を加えることにいたします。

○ 病床確保計画におけるフェーズについて

感染が拡大している千葉、東葛南部及び東葛北部の各圏域と、その周辺の印旛、香取海匝及び市原の各圏域について、7月19日からフェーズ3へ移行することにいたします。

これまで以上に宿泊療養者・自宅療養者が増加することが見込まれるため、こうした方々への支援に遺漏のないよう、取り組むことを指示します。

ワクチン接種が確実に進んでいることで、高齢者の感染、重症化は着実に減少してきており、今までとは少し様相が違うものの、40代、50代の方々の感染者の絶対数が増えていくことで、病床の逼迫は、今後さらに増してくることが予想されるので、非常に難しい判断に迫られてくるかと思っております。

3県と国の考え方をすり合わせる中で、このままの傾向が続けば、緊急事態宣言の発令もあり得る状況下の中で、できる限り市町村の皆様方とも、その方向性を共有しながら進めていきたいと思っております。

本日は、まん延防止等重点措置区域の見直し及び病床確保計画におけるフェーズの移行について決定しました。

各部局庁においては、本日決定した内容について、県民・事業者の皆様、関係団体、市町村等へ速やかにしっかりと周知を行ってください。